

令和4年度 地方創生推進交付金事業 効果検証シート

事業名	新たな人の流れ創出プロジェクト
担当部局課名	企画部地域政策課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	<p>本事業は、地方移住に関心のある都市住民等に対して、移住PR・体験事業や移住定住促進イベント等を通じて霧島のもつ多様な魅力を県と連携して情報発信し、移住・定住者の拡大を図るための新たな取組や相談体制の充実に努め、また移住・定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に向けた取組を推進することを目的としています。</p>			
	<p>令和4年度については、2泊3日の体験研修を3年ぶりに開催したことや、移住・交流推進機構が運営する移住ポータルサイト「ニッポン移住・交流ナビ」への掲載、コロナ禍に対応したオンラインによる移住相談会の開催など各種事業を実施することで、効果的なPR活動に取り組んできました。</p>			
交付額	864,000 円	交付対象事業費	1,729,000 円	
事業始期年月	令和4年4月1日	事業終期年月	令和5年3月31日	
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標	I 訪れたいまち		
	関連施策	I -①I・J・U“移住天国霧島”魅力倍増計画		

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

設定した目標値の根拠	<p>【KPI③】移住プロモーション活動による相談件数 ・移住プロモーション活動による相談件数の増加は、移住PR事業の継続的な取組の進捗状況を表し、事業成果を図ることができる指標である。</p> <p>※【KPI①】市町村の相談窓口を通じた県外からの移住者数、【KPI②】県内に安定した地域おこし協力隊員数は、県の設定のため省略</p>				
	指標	達成状況	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値
KPI①	市町村の相談窓口を通じた県外からの移住者数	鹿児島県のKPI			
KPI②	県内に安定した地域おこし協力隊員数				
KPI③	移住プロモーション活動による相談件数（件/年）	達成	743	748	550
KPI④					

### 3. 本事業の地方創生への効果

<b>事業効果</b>
地方創生に非常に効果的であった

【凡例：選択肢】

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

### 4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の発展	<p>コロナの影響で中止していた年2回の2泊3日の移住体験研修について、参加者の更なる満足度向上や本市の魅力発信の強化を狙い、これまでの「観光スポット廻り」メインから、「先輩移住者との交流」メインに変更し、「きりしま暮らし大大満喫ツアー」（10月・3月）として開催しました。移住・交流推進機構が運営する移住ポータルサイト「ニッポン移住・交流ナビ」への掲載とあわせ、本ツアーを通じ、本市の魅力を幅広くPRすることができ、移住定住の促進や「関係人口」の創出・拡大に向けた取組を推進することに繋がりました。</p> <p>今後については、これまでの効果を検証し、移住者目線による本市の魅力発信を強化するとともに、移住者同士の連携を図りながら、本市の強みを生かした移住体験ツアー、オンラインによる相談会やイベントを企画・開催するなど、効果的に事業を進めます。</p>

【凡例：選択肢】

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

## 移住・PR体験事業

### ●事業概要

本事業は、本市のすばらしい風土を知っていただくとともに、先輩移住者との交流、農作業体験、霧島山登山などの体験を通して、本市への移住を促進することを目的とする事業である。

また、移住を検討されている方々へ本市の魅力を伝えるため、各種媒体を通じた広告等により、本市の魅力や各種支援制度を全国に広くPRし、移住者向けの情報発信を積極的に行うものである。

### ●実績

需用費 印刷製本費 16万8千円

#### 1. 移住ガイドブック増刷 16万8千円

本市へ実際に移住し起業・就農した方の生活ぶりを紹介する移住ガイドブックを増刷し、引き続き本市の優れた生活環境をPRすることで、移住定住の促進を図る。



※ガイドブック表紙 画像

### ■成果

平成29年度に作製した移住ガイドブックを、令和3年度に4年ぶりに一新。移住者9組の生活ぶりを、就業や子育て、リモートワークなどのテーマごとに紹介し、市の概要や支援制度のみでなく移住者が実感した霧島ならではの魅力を伝えることで、魅力的な移住者が集うまちとしてPRを図った。令和4年度は、市窓口、ふるさと回帰支援センター（東京）、移住・交流情報ガーデン（東京）などへの配架に加え、移住イベントへの来場者への配布を行った。今後も本ガイドブックを積極的に活用し、移住定住の促進に繋げたい。

## ●実績

役務費 広告料 104万5千円

### 1. 東京都 都営地下鉄三田線及び浅草線車内 広告 66万円

- ・種類 妻面ポスター 36.4cm×51.5cm  
浅草線（3編成）24枚  
連結妻窓ステッカー タテ35cm×ヨコ35cm  
三田線（3編成）15枚

- ・期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

#### ・都営三田線及び浅草線を選択した理由

①三田線は、ビジネスの中心である都心と、大規模集合住宅（マンション）が密集するベッドタウンのある「高島平」を結ぶ路線であるため、移住など検討している人々にPR効果の高い広告プロモーションが行える。

②浅草線は、神奈川・千葉の巨大なベッドタウンと都心とを結ぶ通勤・通学の動脈になっているため、三田線同様、移住などを検討している人々にPR効果の高い広告プロモーションが行える。

また、観光名所となっている「東京スカイツリー」の押上駅へ直結していること、更には羽田空港と成田空港へも直結していることから需要拡大も行える。

※ポスター、ステッカー 画像



## ■成果

都内での移住イベントや、電話相談において、移住を検討している方から地下鉄の車内ポスターを見かけて、是非霧島を訪れてみたいという声をいただき、本事業や移住に関する相談を行なうことができた。

## 2. (株) 鹿児島建設新聞

総合住宅情報誌（県内向け）「SU・MI・KA」への霧島市移住定住情報、  
市分譲地販売情報広告 5万5千円

- ・種類 カラー1頁 A4サイズ 発行部数1万部
  - ・時期 2022年5月末発行 26号
- ※広告 画像

あなたの望む暮らしがここに  
あります

鹿児島県  
**霧島市**

鹿児島県の中心に位置し、空港のある霧島市。  
ほどよく都会で、ほどよく田舎。  
シティライフもスローライフも  
あなたの思いのままです。

**移住で最大50万円!**  
～子育て世帯はさらにおトク～

霧島市に入居した方、市街地から中山間地域に転居した方が、住宅を販売すると、最大50万円の補助が受けられます。また、子育て世帯には一律30万円の加算金もあります。（諸条件あり）本制度は令和5年3月まで終了します。

補助金の種類	補助金額	
	転入(市外住民)	転居(霧島市民)
住宅取得補助金	50万円	50万円
住宅増改築補助金	20万円	20万円
家賃補助金	24万円	24万円

詳しくは霧島市公式HPをご覧ください。  
おじゃんせ霧島市

【中山間地域の分譲地情報】

分譲地名 [所在地]	区画数	面積(m) 1㎡単価
湯立宅地分譲地 (湯立町藤)	6	254.50～ 12,719円～
丸山前団地 (福川町中ノ)	12	286.23～ 8,737円～
赤水団地 (福川町下ノ)	3	378.78～ 7,300円～
第2赤水団地 (福川町下ノ)	6	339.24～ 6,484円～
牧園中央団地 (牧園町笹窪田)	3	266.50～ 23,100円～
中津川団地 (牧園町下中津川)	1	300.64 6,653円
万藤住宅用地 (牧園町万藤)	2	356.99～ 5,300円～
戸崎団地 (霧島田口)	1	330.84 11,400円

【問い合わせ先】  
〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 TEL 0995-45-5111  
霧島市 地域政策課 中山間地域活性化グループ (内線 1543, 1544)

## ■成果

総合住宅情報誌に霧島市移住定住情報（補助制度）や市分譲地販売情報を掲載することにより、移住を検討している方に対し幅広くPRすることができた。



3. 「ニッポン移住・交流ナビ」における有料自治体特集掲載 33万円

- ・掲載箇所 移住・交流推進機構の移住ポータルサイト  
「ニッポン移住・交流ナビ」

※掲載画面の一部



■成果

移住・交流推進機構の移住ポータルサイトに掲載することにより、地方移住を検討している方や本市への移住を具体的に考えている方に対し、幅広くPRすることができた。

●実績

委託料 15万3千円

1. きりしま暮らし大大大満喫ツアーにおける農作業体験業務

- ・内容 先輩移住者との交流や農作業体験、霧島山登山など、都会では味わえない地方での非日常体験を通じ、本市のファンになってもらうとともに、将来的な本市への移住を支援するものとして、年2回開催。
- ・期日 ①令和4年10月14日（金）～16日（日）  
うち、農作業体験は10月15日（木）  
②令和5年3月25日（土）～27日（月）  
うち、農作業体験は3月26日（日）
- ・参加者 ①6組9名 うち 1組2名は本市へ移住  
②3組6名

※チラシ 画像



■成果

3年ぶりに開催した移住ツアーであり、移住者との交流をメインとした。参加者からは、「霧島の魅力を存分に堪能することができた」「このツアーをきっかけに移住を前向きに検討したい」などといった声もあり、大変好評を得る企画となった。

## 移住定住促進イベント等参加事業

### ●事業概要

この事業は、東京、大阪を中心に行われる移住交流のイベントに参加し、来場者に霧島市の魅力を積極的にPRするとともに、移住を検討している方への相談対応を通じ、本市への将来的な移住定住に繋げるものである。

### ●実績

使用料及び賃借料 36万3千円

1. 九州・山口・沖縄暮らシゴト 2022 ブース出展料 5万5千円

期 日	令和4年5月28日（土）
場 所	東京交通会館
相 談 者	16組22名（うち4組7名は本市へ移住）
出 展 団 体	51団体

2. ふるさと回帰フェア 2022 ブース出展料 11万円

期 日	令和4年9月25日（日）
場 所	東京国際フォーラム
相 談 者	20組26名（うち1組1名は本市へ移住）
出 展 団 体	350団体

3. JOIN移住・交流&地域おこしフェア 2023 ブース出展料 13万2千円

期 日	令和5年1月14日（土）
場 所	東京ビッグサイト
相 談 者	16組18名
出 展 団 体	354団体

4. いなスタ 2023 ブース出展料 6万6千円

期 日	令和5年2月23日（木）
場 所	OMMビル（大阪）
相 談 者	11組14名
出 展 団 体	71団体

### ■成果

コロナ禍でのイベント開催であったが、移住を検討している方への相談を通じ本市の魅力をPRし、その結果、移住される方もあり移住定住の促進に繋げることができた。